

ひとを結ぶ。
まちを結ぶ。
column
No.70
地域おこし協力隊

▼美しい模様をあしらった柳川まり



柳川まりのプロジェクトを立ち上げました

皆さん、こんにちは。地域おこし協力隊の堤圭です。活動期間の後半に差し掛かったところで、コロナ禍のため、予定していたイベントが全て中止となり、活動内容を見直すことになりました。

そこで、以前からとても興味があった柳川まりのプロジェクトを立ち上げました。柳川まりの新たな魅力を発見し、今までにない付加価値を創造して、発信する試みです。柳川まりの歴史や文化的背景の紹介はもちろん、特に手仕事としての魅力にスポットを当て、職人の方々の協力を得ながら、新たな表現の可能性を追求したいと思っています。柳川まりを伝統的な装飾品としてだけでなく、現代の生活にも馴染む形に変えることで、新たなファン層が広がり、貴重な手仕事が受け継がれていく小さな力になれば嬉しいです。

プロジェクトの名前は、cotan^{コタン}といいます。活動をcotanのインスタグラムにあげていく予定です。もしよろしかったらご覧ください。

▶Instagram
コタンのQRコード



堤 圭 (51歳)

【プロフィール】市商工・ブランド振興課に所属。柳川特産品の販売・PRなどを担当

▼黄金色に輝く麦畑



今できることを積み重ねて再来訪につなげる

新型コロナウイルスにより一変した生活様式になってから、半年が過ぎようとしています。私が携わっている観光分野も大きな打撃を受け、イベントも軒並みキャンセルになりました。SNSなどを活用した国内外への情報発信は、ここ数カ月は変更や中止のお知らせが多くなりました。そんな中でも市内には、有明海^{ありあけうみ}の海苔^{のり}ひびの風景や海苔網を支える支柱の撤去作業の様子、黄金色に輝く麦畑など、見た人がほっこりするような風景があります。このような違った角度からの柳川の魅力を発信しています。

まだ先が見えない不透明な状況ですが、一方で、新しい生活スタイルに合う市場や旅行者のニーズ、マーケティング戦略など、今後の方向性を模索しながら、コロナ終息後の回復に向けたさまざまな対策を検討しています。たとえ今お越しいただけなくても、今できる小さなことを積み重ねていくことで、再来訪や口コミの拡散に向けた継続的な関係人口の拡大につながればと思っています。



平原 真紀子 (41歳)

【プロフィール】市観光課に所属。着地型観光事業や観光振興・誘客支援事業を担当

レジ袋有料化

2020年7月1日スタート

環境問題解決の第一歩

レジ袋削減にご協力下さい



レジ袋有料化がスタート

7月から有料化されるのは、スーパーやコンビニなどの他、百貨店などで衣料品などを購入したときにもらうプラスチック製の買い物袋です。微生物によって水と二酸化炭素に分解される「海洋生分解性プラスチック」100%のものや、植物資源からできた「バイオマス素材」が25%以上配合されたもの

「外出するときはマイバッグを携帯する」という生活スタイルを始めましょう。

また、少し意識するだけで「過剰包装や不要な割り箸、スプーン、おしぼりなどを断る」「詰め替え用品を使う」などのリデュースを誰でも簡単に実践できます。食べ物では「食べ

7月からのレジ袋有料化は「レジ袋代を支払うかマイバッグにするか」ではなく、不要な

「詰め替え用品を使う」などのリデュースを誰でも簡単に実践できます。食べ物では「食べ

のなど一部有料化されない買い物袋もあります。

ちょっとした心がけがリデュースにつながる

3Rとは、持続可能な社会を目指す3つのキーワード、リデュース(減らす)、リユース(繰り返し使う)、リサイクル(再利用)の頭文字をとったものです。3つの中で最も重要なのが「リデュース」です。今回のレジ袋有料化をきっかけに「外出するときはマイバッグを携帯する」という生活スタイルを始めましょう。

マイバッグを使うことでレジ袋は削減できます。それでも卵のパックや食品トレイ、ペットボトル、発泡スチロールなどプラスチックごみは出ます。レジ袋など、どうしても出てしまうプラスチックごみは、資源ごみとして出しましょう。

さっそく今日から新たな習慣にチャレンジ



「レジ袋が本当に必要かを考える」「プラスチックごみは資源ごみとして分別を徹底する」など、私たち一人一人の行動の積み重ねが、ごみの減量や環境問題の解決につながります。あなたも今日から、新しい習慣を1つ始めてみませんか。



レジ袋有料化をきっかけに新しい習慣を

シリーズ「ごみ減量をいかにして成功させるか」②

スーパーやコンビニなどのレジ袋が、7月1日から全国一斉に有料化されます。これまで買った品物を気軽に入れていた便利なレジ袋は、海洋汚染や地球温暖化の一因にもなっている削減が叫ばれていました。今回の有料化をきっかけに、生活スタイルを見直してみませんか。

【問】市廃棄物対策課(☎72・1334)

マイバッグを持って街に出よう。

